

●矯正歯科 Orthodontics

1. 所属構成員等

准 教 授 安藤文人, 宇塚 聡, 宮下 渉 (科長)
講 師 内田裕子, 土持 宇 (医長)
助 教 井川陽子, 佐藤瑤子, 水谷匡祐, 舘 晶彦, 窪田大祐, 長谷川美緒
非常勤歯科 柴垣諒子, 林 剛, 李 有未, 杉山裕哉, 土井百合香, 藤原由梨, 内川菜摘, 嘉悦
医 師 茉美, 勝浦杏奈, 久 星子, 松原 萌, 渡辺理絵
臨床教授 宮脇剛司
臨床講師 田村彰英, 仲谷 豊, 篠崎圭太, 箕浦雄介, 今野喜文, 玉田一敬, 渡邊浩幸, 藤田
由希子, 上保 基, 宇井智子, 佐藤彩乃, 大塚絵里佳, 吉屋慶章

2. 研究テーマ

- 1) 歯の唇・頬側面のICDASでの齲蝕評価における評価者内・間の一致率と測定時間への記録様式改良の影響 Effect of recording format on concordance rate and measurement time in caries evaluation by ICDAS.
- 2) マルチブラケット装置装着半年後におけるカリエスリスクの変化に関する予備的研究 Pilot study of caries risk by patients wearing brackets after half a year.
- 3) 矯正歯科初診患者のカリオグラムを利用したリスク評価とリスクファクターの分析 Evaluation of Caries Risk Using Cariogram and Analysis of Risk Factors among Orthodontic First-visit Patients.
- 4) 顎矯正手術後のエラスティックの使用が歯の位置変化に与える影響 Effects of using elastics after orthognathic surgery on tooth position change.
- 5) 歯科矯正用アンカースクリューを用いた下顎大白歯の遠心移動が与える骨格・歯列の変化についての検討 Skelatal and dental changes with distal movement of mandibular molars using orthodontic anchor screws.
- 6) 頬骨下稜の歯科矯正用アンカープレートと下顎臼後部の歯科矯正用アンカースクリューを併用し治療を行った鞍状歯列弓を伴う骨格性Ⅱ級症例 Skeletal class II malocclusion with saddle-shaped dental arch treatment using infla-zygomatic plate-screw and orthodontic mini-implant at the retromolar area: a case report.
- 7) 睡眠時無呼吸症患者に処方する可撤式口腔内装置による治療効果の検証 Evaluation of Therapeutic Effectiveness of a Oral Appliance Prescribed to Patients with Sleep Apnea.
- 8) 外科矯正治療における治療予測の精度検証 Verification of the accuracy of treatment prediction in Surgical Orthodontic Treatment.
- 9) 矯正治療に伴う痛みに対するフォトバイオモデュレーションの影響 Effect of photobiomodulation on pain associated with orthodontic treatment.

3. 今年度の研究上の特筆すべき事項

受賞

記載事項なし

特許

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

- 1) 第31回日本形成外科学会基礎学術集会, 岡山, 44835, 一般演題1「動物実験モデル」 座長: 宮脇剛司.
- 2) 第40回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会, 名古屋, 44866, 一般演題 耳・鼻 座長: 宮脇剛司.
- 3) 第28回日本形成外科手術手技学会, 川崎, 44986, 突破セッション3 座長: 宮脇剛司.

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部・学内研究費

- 1) AMED: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構, 医療機器等研究成果展開事業, (新規), 2022~2026年度, リン酸化プルランバイオアドヒーズを用いた革新的唇顎口蓋裂治療法の開発, 吉田靖弘(北海道大学)(代表), 玉田一敬(分担), 390,000,000円, 2022年度, 780,000円
- 2) AMED: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構, 医療機器開発推進研究事業, (新規), 2022~2024年度, 頭蓋骨縫合早期癒合症治療に向けた骨再生制御技術の開発, 玉田一敬(代表), 130,000,000円, 2022年度, 3,380,000円
- 3) 令和4年度都立病院臨床研究, 一般研究, (継続), 2021~2022年度, 大規模データベースを用いた頭蓋骨縫合早期癒合症の日本における実態調査, 玉田一敬(代表), 360,000円, 2022年度, 180,000円
- 4) 令和4年度都立病院臨床研究, 一般研究, (継続), 2021~2022年度, 口唇裂手術前後の形態評価におけるeye tracking ~手術習熟度による違いの評価~, 青木麻利江(都立小児総合医療センター)(代表), 玉田一敬(分担), 360,000円, 2022年度, 180,000円
- 5) 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C), (継続), 2021~2023年度, 口唇口蓋裂の患者報告アウトカム質問紙の妥当性評価と現状および治療有効性評価, 彦坂信(国立成育医療研究センター)(代表), 玉田一敬(分担), 5,150,000円, 2022年度, 50,000円

8. 研究業績

A. 著書

1. 宇塚 聡(分担執筆): ディープリトラクターSU型, 52-56, 豊山洋輔, MOOK 使ってみよう 歯科のベストアイテム 2023, 1, 株式会社デンタルダイヤモンド社, 東京, 2023, ISBN 978-4-88510-552-4 C3047.

B. 原著

- 1) Fujino S, Enokizono M, Tamada I, Ihara S, Kono T, Miyama S: Symptomatic enophthalmos due to sphenoid wing dysplasia appearing over 12 years in a patient with neurofibromatosis type 1: a case report and literature review, ©J AAPOS, 2022; 26(4): 210-214, doi: 10.1016/j.jaapos.2022.02.013.
- 2) Reiji Nishimura, Naohiko Ogino, Takeshi Miyawaki, Shintaro Matsuura, Mikako Fujii, Wataru Akaishi, Hideaki Bo(7th): A Biomechanical Study Comparing Different Configurations of the Ilizarov Mini-fixator and Plate Fixation. , ©Journal of Plastic and Reconstructive Surgery, 2022; 1(2): 35-43.
- 3) 高倉 真由佳, 石田 勝大, 岸 慶太, 児玉 浩希, 平山 晴之, 宮脇 剛司: 近赤外線矯正加速装置(Orthopulse®)と半導体低出力レーザーの鎮痛効果の比較, ©日本成人矯正歯科学会誌, 2022; 29(1): 2-5.
- 4) 高木律男, 児玉泰光, 飯田征二, 井上直子, 小林眞司, 阪井丘芳, 須佐見隆史(th), 須田直人(th), 中村典史(th), 宮脇剛司(th), 古里幹彦(th): 口唇裂・口蓋裂児に関する臨床統計的検討(2019), ©日本口蓋裂学会雑誌, 2022; 47: 210-219.
- 5) 陳 明裕, 本田真佑実, 宇塚 聡: 近赤外線矯正加速装置(Orthopulse®)と半導体低出力レーザーの鎮痛効果の比較, ©日本成人矯正歯科学会誌, 2022; 29(1): 2-5.
- 6) 内川菜摘, 水谷匡佑, 鈴木麻美, 宮下 渉, 宇塚 聡: 下顎骨前方移動に対する manual prediction と computer software を用いた digital prediction による軟組織変化の正確度, ©日本顎変形症学会誌, 2022; 32(4): 274-282.
- 7) 土井百合香, 安藤文人, 内川菜摘, 渡辺理絵, 窪田大祐, 若山雄一郎, 小林さくら子(7th) (7 authors): 矯正歯科初診患者のカリオグラムを利用したリスク評価とリスクファクターの分析, ©日本歯科医療管理学会雑誌, 2022; 57(3): 136-145.

- 8) Yu Hosokawa, Takeshi Miyawaki, Kazuhiro Omura, Taisuke Akutsu, Ryohei Kimura, Tetsuo Ikezono, Nobuyoshi Otori (7th): Surgical Treatment for Empty Nose Syndrome Using Autologous Dermal Fat: Evaluation of Symptomatic Improvement, ©Ear Nose Throat J, 2022; , doi: 10.1177/01455613221130885. Online ahead of print..
- 9) Yoshitomi A, Baba S, Tamada I, Nakaya M, Itokawa M: Relationship between cleft palate width and otitis media, ©Laryngoscope Investigative Otolaryngology, 2022; 7(6): 1-7, doi: 10.1002/lio2.933.

C. 総説・解説

- 1) 宇塚 聡: 口腔と健康. 日本健康医療学会雑誌, 2022; 10 (2) : 52-57.
- 2) 森山壮, 宮脇剛司, 宮野千草, 竹内直子, 大場有矢, 工藤彩華, 川北萌乃(th), 糸洲友視(th), 渡邊寛子(th), 渕之上祐子(th), 高倉真由佳, 西村礼司, 石田勝大(th) (13 authors): 特集 手術に役立つ臨床解剖 外鼻の手術. .耳鼻咽喉科, 2022; 2(1): 39-43.
- 3) 西村礼司, 宮脇剛司: 創外固定の歴史、骨癒合理論の変遷.. 日形会誌, 2022; 42(5): 231-239.
- 4) 西村礼司, 平山晴之, 宮脇剛司: 特集/こんなマニュアルが欲しかった! 形成外科基本マニュアル [1] 抗生剤・抗菌薬. PEPARS, 2022; 190: 72-77.

D. 報告 (臨床・症例・研究・商業誌の総説や解説等) ・ 紀要

- 1) 平山晴之, 宮脇剛司: 局所皮弁デザイン-達人の思慮の技-頬部, 下眼瞼欠損に対する治療戦略-頬部回転皮弁-. PEPARS, 2022; 189: 49-56.
- 2) 宮脇剛司, 森山 壮: 美容外科道場シリーズ 要望別に見る鼻の美容外科の手術戦略 鼻詰まりと鼻すじの曲がりと同時に改善したい. PEPARS, 2022; 185: 75-84.
- 3) 水谷匡佑, 宇塚 聡: 不正咬合別にみる小児矯正のベストタイミング. Dental Diamond, 2022; 47 (15) : 45-55.
- 4) 長谷川美緒, 吉屋慶章, 小林さくら子, 安藤文人: 保存困難な第一大臼歯の抜去後に第二・第三大臼歯を近心移動させたAngleⅢ級前歯部開咬症例. 東京矯正歯科学会雑誌, 2022; 32(2): 93-99.
- 5) 窪田大祐, 吉屋慶章, 小林さくら子: 歯牙腫による下顎犬歯の埋伏を伴う上顎前突症例. 東京矯正歯科学会雑誌, 2022; 32(2): 100-106.

E. 翻訳

特記事項なし

F. 学術大会発表

- 1) 赤石 渉, 坊 英明, 西村礼司, 前田和洋, 湯川充人, 永峯佑二, 斎藤 充, 松浦慎太郎, 宮脇剛司. プロジェクションマッピングによる手外科手技支援法の精度評価. 第65回日本手外科学会学術集会, 2022;
- 2) 宮脇剛司, 森山 壮, 宮野千草, 竹内直子. 鼻中隔軟骨尾側端の前鼻棘への固定方について. 第65回日本形成外科学会総会学術集会, 2022;
- 3) 森山 壮, 川端優也, 渕之上祐子, 竹内直子, 宮野千草, ウィーデルケールイリス, 宮脇剛司. 鼻中隔彎曲症における尾側端の彎曲(前彎)の治療法に関するCT解析を用いた評価. 第65回日本形成外科学会総会学術集会, 2022;
- 4) 森山 壮, 川端優也, 渕之上祐子, 竹内直子, 宮野千草, 宮脇剛司. 超音波手術器 Sonopet iQ®を用いた鼻骨骨切り術. 第65回日本形成外科学会総会学術集会, 2022;
- 5) 竹内直子, ウィーデルケールイリス, 宮野千草, 川端優也, 森山 壮, 細川 悠, 飯村慈朗, 宮脇剛司. 日本語版SCHNOS作成と有用性の検討第2報. 第65回日本形成外科学会総会学術集会, 2022;
- 6) 嘉悦菜美, 大原千明, 宮下 渉, 土持 宇, 北詰栄里, 荘司洋文, 小林さくら子. 18歯の先天性欠如を伴う骨格性下顎前突症例. 第32回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会プログラム・抄録集, 2022; 32(2): 211.

- 7) 呉屋 龍, 内川菜摘, 水谷匡佑, 宮下 渉, 宇塚 聡. 外科的矯正手術患者におけるImaging softwareを用いた軟組織側貌予測の精度についての検討:下顎後退症. 日本成人矯正歯科学会大会プログラム・抄録集, 2022; 30: 45.
<http://jglobal.jst.go.jp/public>.
- 8) 真鍋 望, 水谷匡佑, 宇塚 聡. 頬骨下稜の歯科矯正用アンカープレートと下顎臼後部の歯科矯正用アンカースクリューを併用し治療を行った鞍状歯列弓を伴う骨格性Ⅱ級症例. 日本成人矯正歯科学会大会プログラム・抄録集 (Program & Abstracts for the Annual Meeting of Japan Association of Adult Orthodontics), 2022; 30: 55.
https://jglobal.jst.go.jp/detail?JGLOBAL_ID=202202237436345246.
- 9) 高倉真由佳, 石田勝大, 岸 慶太, 児玉浩希, 平山晴之, 今川記恵, 宮脇剛司. 三叉神経咬筋枝以降, 舌下神経-顔面神経クロスリンク型神経移植後の早期ボツリヌストキシン併用療法の検討. 第45回日本顔面神経学会, 2022; 10(1): 25.
- 10) 藤田真澄, 松原萌, 水谷匡佑, 宇塚聡. 上顎劣成長を伴う骨格性下顎前突患者における、外科的矯正治療前後の気道容積の3次元的变化. 日本健康医療学会雑誌, 2022; 10(1): 25.
- 11) 李 有未, 水谷匡佑, 柴垣諒子, 土持 宇, 小林さくら子. 当科におけるCOVID-19の影響による、診療体制縮小下での急患患者の実態調査. 第81回日本矯正歯科学会学術大会プログラム・抄録集, 2022; 81: 189.
- 12) 蔵田麻莉沙, 柴垣諒子, 宮下 渉. 顎矯正手術後のエラスティックの使用が歯に与える影響. 第81回日本矯正歯科学会 総会・学術大会プログラムおよび抄録集, 2022; 81: 199.
- 13) 和田健一郎, 水谷匡佑, 宇塚 聡, 宮下 渉. 歯科矯正用アンカースクリューを用いた下顎大臼歯の遠心移動が与える骨格・歯列の変化についての検討. 第81回日本矯正歯科学会学術大会プログラム・抄録集, 2022; 81: 197.
- 14) 舘 晶彦, 栃木啓佑, 新井一仁. ニッケルチタン合金製プリフォームドアーチワイヤーの犬歯部/第一大臼歯部幅径の比が矯正力に与える影響. 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム プログラム抄録集, 2022; 81: 160.
- 15) 杉山裕哉, 栃木啓佑, 舘 晶彦, 新井一仁. プリフォームド・レクタングュラーアーチワイヤーの部位における寸法の比較. 第81回日本矯正歯科学会学術大会&第9回日韓ジョイントシンポジウム プログラム抄録集, 2022; 81: 198.
- 16) 李 有未, 水谷匡佑, 柴垣諒子, 土持 宇, 小林さくら子. 当科におけるCOVID-19の影響による診療体制縮小下での急患患者の実態調査. 第81回日本矯正歯科学会総会・学術大会プログラムおよび抄録集, 2022; 81: 189.
- 17) 若山雄一郎, 内川菜摘, 渡辺理絵, 土井百合香, 窪田大祐, 光岡一行, 安藤文人, 小林さくら子. マルチブラケット装置装着半年後におけるカリエスリスクの変化に関する予備的研究. 第81回日本矯正歯科学会学術大会プログラム・抄録集, 2022; 81: 203.
- 18) 南郷晴香, 光岡一行, 安藤文人, 窪田大祐, 土井百合香, 渡辺理絵, 内川菜摘, 若山雄一郎, 小林さくら子. 歯の唇・頬側面のICDASでのう蝕評価における評価者内・間の一致率と測定時間への記録様式改良の影響. 第81回日本矯正歯科学会学術大会プログラム・抄録集, 2022; 81: 203.
- 19) 佐藤瑤子, 花沢綾子, 宮下 渉. 頬粘膜圧痕を生じた要因の考察とそれに対する装置の考案. 第81回日本矯正歯科学会学術大会 プログラム・抄録集, 2022; 239.
- 20) 飯村慈郎, 岡村彩加, 中澤圭史, 佐久間信行, 田中大貴, 柳原太一, 中島大輝, 細川 悠, 宮脇剛司, 鴻 信義. 当科におけるopen septorrhinoplasty適応基準の変化. 第61回日本鼻科学会総会・学術集会, 2022;
- 21) 細川 悠, 飯村慈郎, 中島大輝, 宮脇剛司, 鴻信義. 耳鼻咽喉科医によるopen septorrhinoplastyの術後成績の検討. 第61回日本鼻科学会総会・学術集会, 2022;
- 22) 山住彩織, 竹内直子, 森山 壮, 宮脇剛司, 柳 徳浩, 鄭 雅政, 細川 悠, 森 恵莉, 飯村慈郎, 鴻 信義. 半切肋骨と肋軟骨を用いたハイブリッド移植による鼻中隔軟骨の吊り上げ法. 第61回日本鼻科学会総会・学術集会, 2022;

- 23) 鈴木麻美, 内川菜摘, 水谷匡佑, 宇塚 聡, 宮下 渉. Bland-Altman分析を用いた骨格性下顎前突症における側貌予測誤差の検討: Cephalometric predictionおよびセファロ分析ソフトの比較. 第40回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会, 2022; 81: 155.
- 24) 佐藤瑤子, 水谷匡介, 宇塚 聡. 閉塞性睡眠時無呼吸に対する口腔内装置の治療効果と顎顔面形態および咽頭部気道幅径との関連について. 睡眠口腔医学, 2022; vol. 9: 101.

G. 講演

1) 特別講演・シンポジウム等での講演

- 1) 玉田一敬: 頭蓋顎顔面外科におけるリアルタイムCGビューワーを用いた術前シミュレーション, 第65回日本形成外科学会総会・学術集会, シンポジウム, 大阪 (2022/4/21).
- 2) 玉田一敬: 多角的評価が高めるquality of craniofacial surgery, 第15回日本整容脳神経外科学会, シンポジウム, 東京 (2022/4/16).
- 3) 宮脇剛司: 特別企画: 美容形成～事始めから匠への道 Contouring 「顔輪郭」, 第45回日本美容外科学会総会・第145回学術集会, 司会, 札幌 (44833).
- 4) 宇塚 聡: , 令和4年度日本歯科大学附属病院主催歯科医師臨床研修指導歯科医講習会, タスクフォース, 東京 (2022年9月29, 30日).
- 5) 宇塚 聡: 症例分析演習Ⅰ, 特定非営利活動法人日本成人矯正歯科学会第Ⅴ期認定医研修プログラム第19回, 招待講演, 東京 (Webex併催) (2022年10月9, 10日).
- 6) 宇塚 聡: 症例分析演習Ⅱ, 特定非営利活動法人日本成人矯正歯科学会第Ⅴ期認定医研修プログラム第20回, 招待講演, 東京 (Webex併催) (44878).
- 7) 石田勝大, 平山晴之, 岸 慶太, 児玉浩希, 宮脇剛司: 上顎全摘後、長期経過観察症例の検討, 第40回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会, シンポジウム, 名古屋 (2022/11/18).
- 8) 玉田一敬: 症候群性頭蓋骨縫合早期癒合症に対する中顔面骨延長術 ～安全で確実な整容的改善を目指して～, 第40回日本頭蓋顎顔面外科学会, シンポジウム, 名古屋 (2022/11/18).
- 9) 宇塚 聡: 研修評価について, 令和4年度医療法人慈皓会波多野歯科医院主催歯科医師臨床研修指導歯科医講習会, タスクフォース, 埼玉 (2023年2月16, 17日).
- 10) 宇塚 聡: 矯正歯科的な検査と診断, 矯正歯科的な検査と診断, 特定非営利活動法人日本成人矯正歯科学会第Ⅵ期認定医研修プログラム第2回, 招待講演, 東京 (Webex併催) (44970).
- 11) 玉田一敬: 小児眼窩底骨折の特徴と我々の基本術式, 第28回日本形成外科手術手技学会, シンポジウム, 川崎 (2023/3/4).
- 12) 武内直子, 山住彩織, 森山 壮, 宮脇剛司: 眼窩底骨折手術～経結膜切開による最短アプローチと工夫～, 第28回日本形成外科手術手技学会, シンポジウム, 川崎 (2023/3/4).
- 13) 平山晴之, 石田勝大, 岸 慶太, 赤石 渉, 児玉浩希, 宮脇剛司: レーザープロジェクターを用いたプロジェクションマッピングによる皮弁挙上, 第28回日本形成外科手術手技学会, シンポジウム, 川崎 (2023/3/4).
- 14) 宇塚 聡: 矯正歯科的な検査と診断Ⅱ, 矯正歯科的な検査と診断Ⅱ, 特定非営利活動法人日本成人矯正歯科学会第Ⅵ期認定医研修プログラム第3回, 招待講演, 東京 (Webex併催) (44997).
- 15) 宇塚 聡: 不正咬合ごとに考える小児期の矯正歯科治療のベストタイミング, 東京都滝野川学校歯科医会・北区学校(園)歯科医研修会, 招待講演, 東京 (44999).

2) 講演会・研究会・研修会等での講演

記載事項なし

H. その他の出版物

- 1) NHK「チョコちゃんに叱られる!」制作班 監修: 答えられないと叱られる!? チョちゃんの素朴なギモン365 , , 宝島社, 東京, 2022, ISBN 978-4-299-03070-2, 宮脇剛司.
- 2) 宮脇剛司: 重度の腋窩多汗症治療の実際 -大学病院の医師の視点-7, , Bella Pelle 2022 , 2022,

- 3) 宮脇剛司: 2021 年度 (第44 回) 日本形成外科学会専門医認定審査の総評と筆記試験問題の解説 II. 筆記試験問題の解説 (専門医試験問題作成委員会 委員長), 日形会誌, 2022,